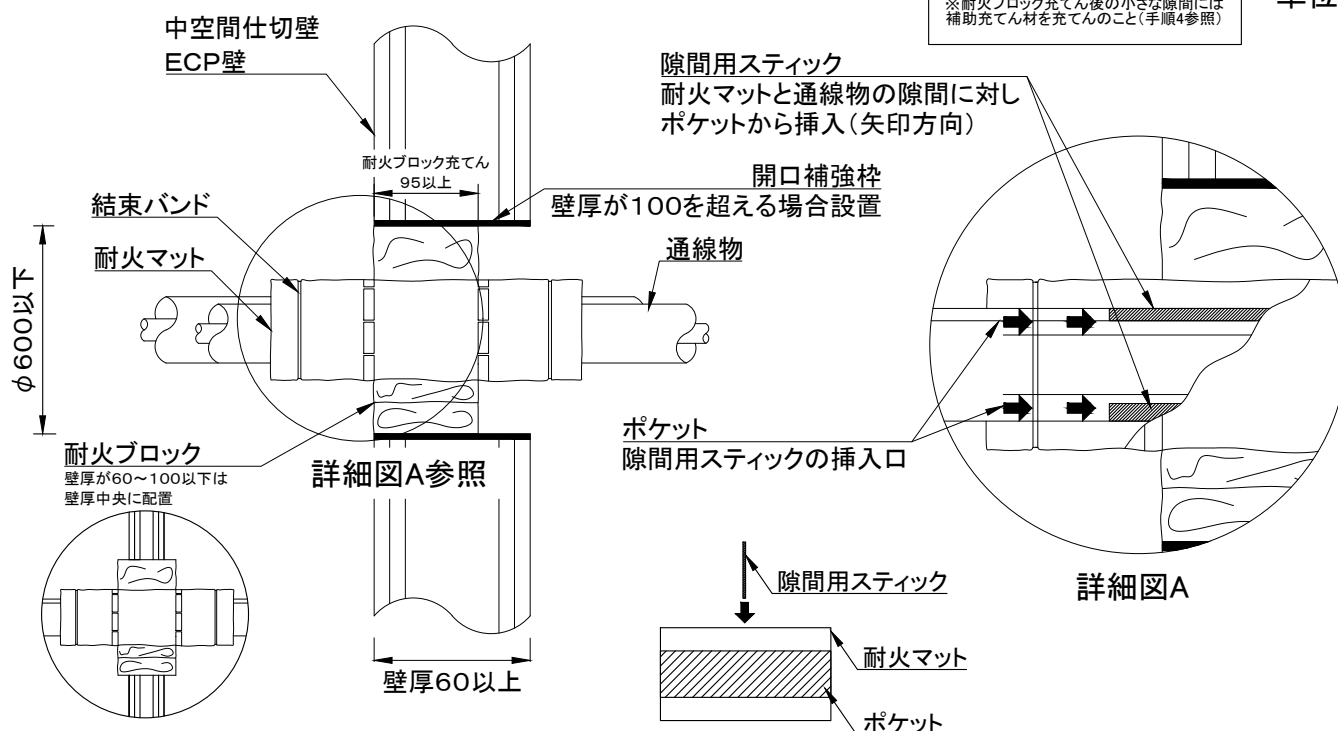
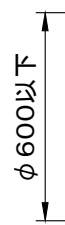


單位:mm

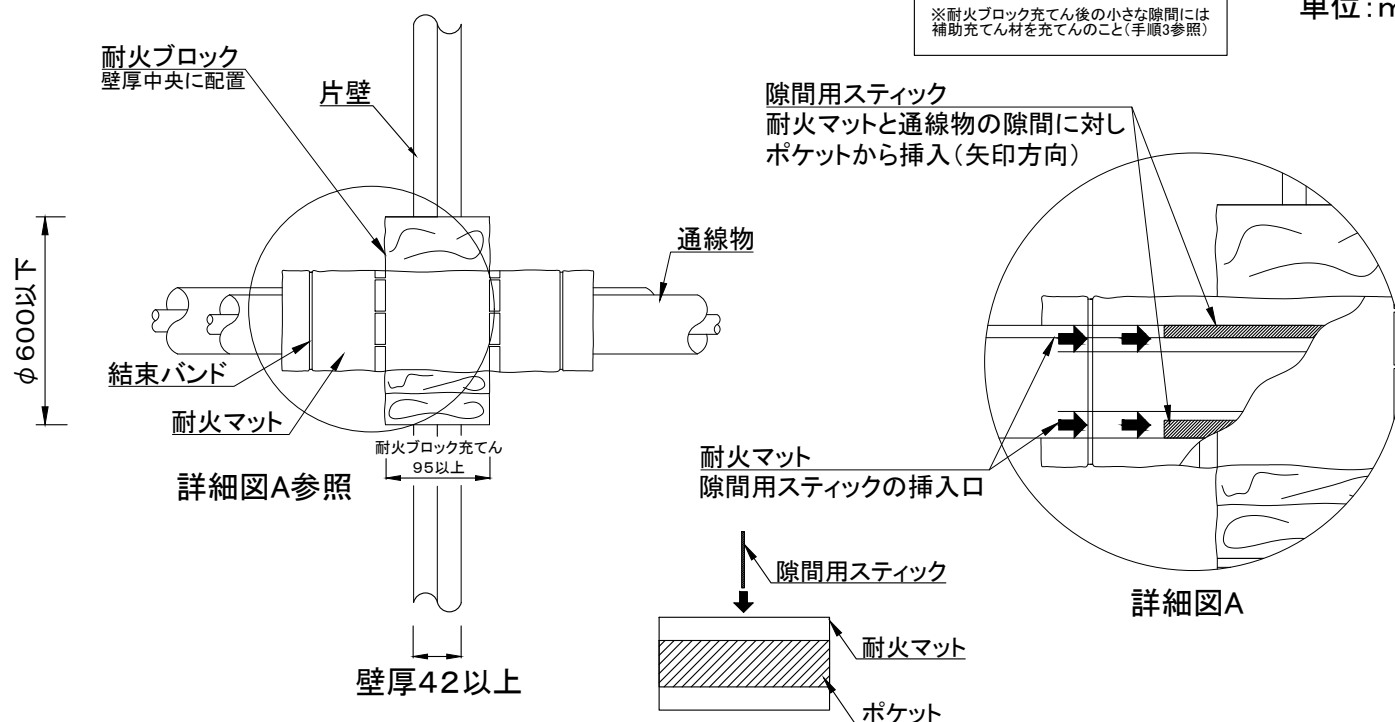


項目				仕様		
国土交通大臣認定番号				PS060WL－1182－2(1182－1、1182)		
貫通する壁の構造等				中空間仕切壁、ECP壁 厚さ60以上 ※中空間仕切壁は壁厚100mmを超える場合、開口補強枠設置		
開口部	形状(開口サイズ)		円形(丸穴) φ600以下			
	面積		0.29㎡以下			
占積率				35.0%以下		
防火部材	耐火ブロック		ロクマックスブロック			
	耐火マット、隙間用スティック		ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック			
	耐火シート		ロクマックスシート			
				耐火ブロック、 補助充てん材のみ	耐火マット	
					単管	複数管
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	—	φ44. 5以下	φ44. 5以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ54以下	φ54以下
		アルミ冷媒管 (JIS H 4080)	保温材(20以下)	—	φ38. 1以下	φ38. 1以下
			鋼管	保温材なし	90A以下	—
		保温材(20以下)		—	32A以下	32A以下
		発泡合成ゴム保温材(38以下)		—	40A以下 外径φ48. 6以下	40A以下 外径φ48. 6以下
		ステンレス鋼管	保温材なし	90A以下	—	—
			保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ50. 8以下	φ50. 8以下
		VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—
			保温材(6以下)	—	—	25A以下
			保温材(20以下)	—	65A以下	—
	結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプなど)		—	50A以下	25A以下	
	断熱ドレンホース		—	—	呼び25以下 外径φ37以下	
	ドレンホース		—	—	呼び16以下 外径φ22以下	
	衛生	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—
		リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)		—	100A以下	—
	電気	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)		1,600㎟以下 200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け		
		合成樹脂製可とう電線管		PF・CD54以下 PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管：貫通部に耐火マット巻き付け		
施工方法				1 壁厚が100を超える場合、開口補強枠を設置する。 2 貫通部に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置まで スライドさせる。 尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、隙間用スティックを設置すること。 3 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。 4 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。		

※耐火ブロック充てん後の小さな隙間には補助充てん材を充てんのこと(手順3参照)

2025 9

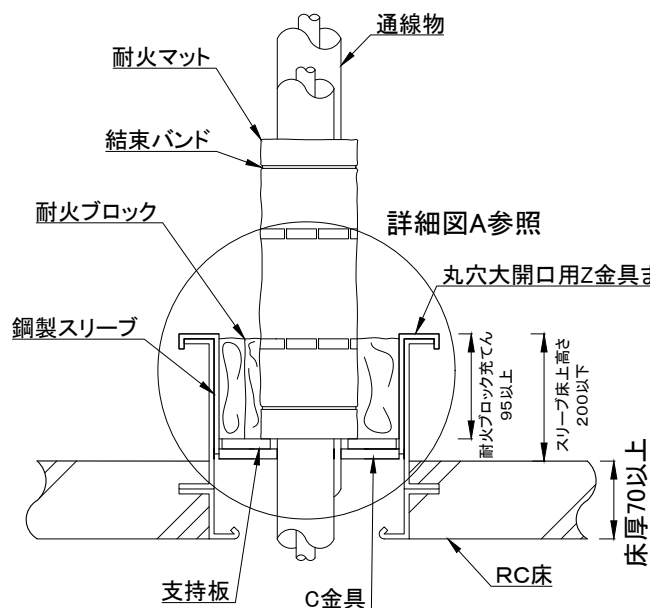
單位:mm



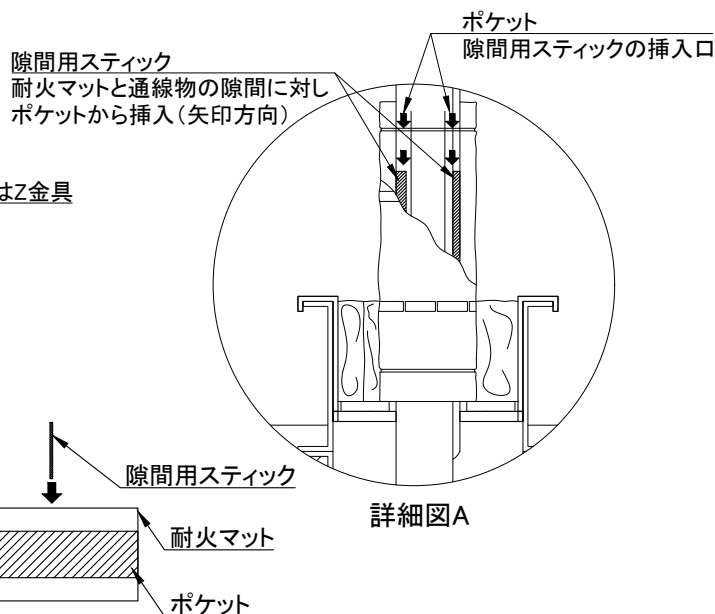
項目				仕様		
国土交通大臣認定番号				PS060WL-1212-2(1212-1、1212)		
貫通する壁の構造等				片壁 厚さ42以上		
開口部	形状(開口サイズ)		円形(丸穴) φ600以下			
	面積		0.29㎡以下			
占積率				35.0%以下		
防火部材	耐火ブロック		ロクマックスブロック			
	耐火マット、隙間用スティック		ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック			
	耐火シート		ロクマックスシート			
				耐火ブロック、 補助充てん材のみ	耐火マット	
					単管	複数管
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	—	φ44. 5以下	φ44. 5以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ54以下	φ54以下
		アルミ冷媒管 (JIS H 4080)	保温材(20以下)	—	φ38. 1以下	φ38. 1以下
			銅管	保温材なし	90A以下	—
		保温材(20以下)		—	32A以下	32A以下
		発泡合成ゴム保温材(38以下)		—	40A以下 外径φ48. 6以下	40A以下 外径φ48. 6以下
		ステンレス銅管	保温材なし	90A以下	—	—
			保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ50. 8以下	φ50. 8以下
		VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—
	保温材(6以下)		—	—	25A以下	
	保温材(20以下)		—	65A以下	—	
	結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプなど)		—	50A以下	25A以下	
	断熱ドレンホース		—	—	呼び25以下 外径φ37以下	
	ドレンホース		—	—	呼び16以下 外径φ22以下	
	衛生	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—
		リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)		—	100A以下	—
電気	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)		1,600mm ² 以下 200mm ² を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け			
	合成樹脂製可とう電線管		PF・CD54以下 PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管：貫通部に耐火マット巻き付け			
施工方法				1 貫通物に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置まで スライドさせる。 尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、 隙間用スティックを設置すること。 2 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てん する。 3 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。		

1 【空調設備】丸穴工法 RC床 鋼製スリーブ有り

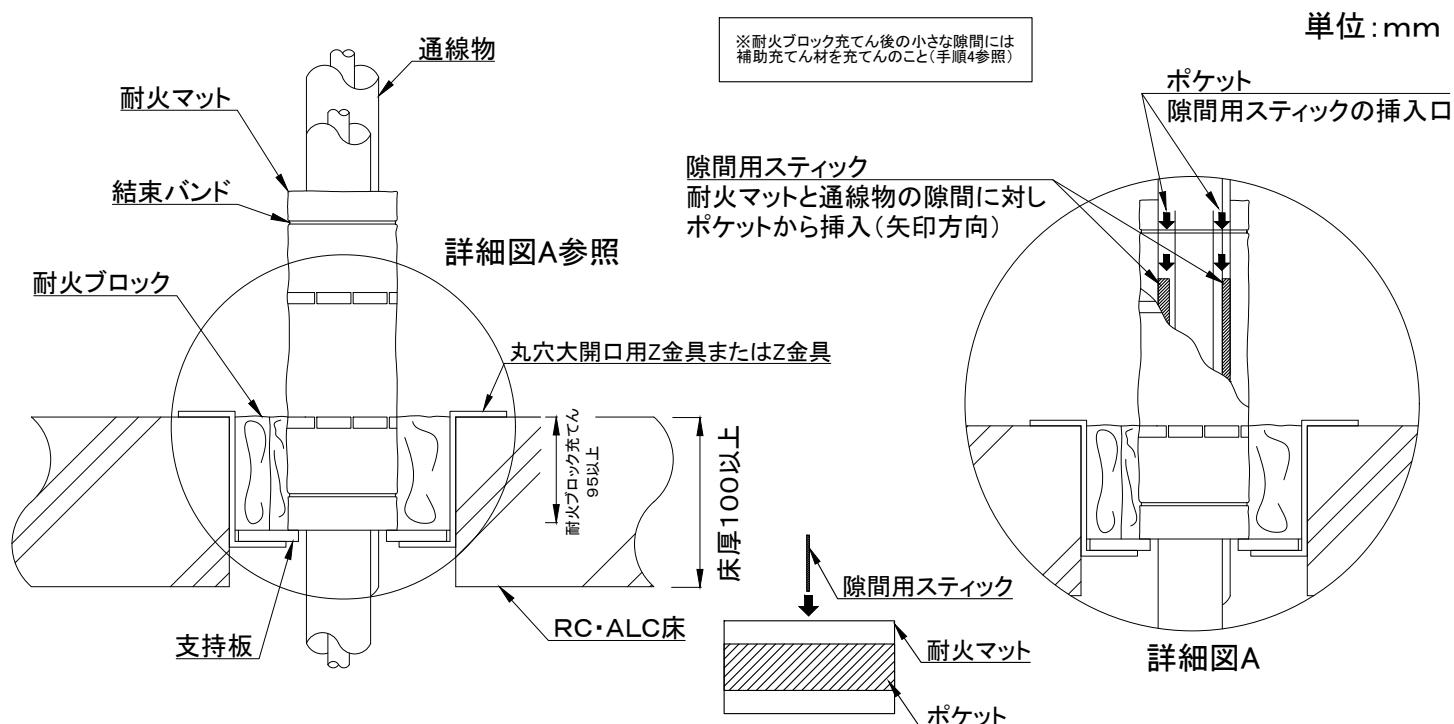
単位:mm



※耐火ブロック充てん後の小さな隙間には補助充てん材を充てんすること(手順5参照)



項目			仕様		
国土交通大臣認定番号			PS060FL-1200-2(1200-1、1200)		
貫通する壁の構造等			RC床 厚さ70以上 ※鋼製スリーブ(厚さ1.6以上、床上高さ200以下)設置		
開口部	形状(開口サイズ)		円形(丸穴) φ600以下		
	面積		0.29㎡以下		
占積率			35.0%以下		
防火部材	耐火ブロック		ロクマックスブロック		
	耐火マット、隙間用スティック		ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック		
	耐火シート		ロクマックスシート		
	支持板		ロクマックスボード		
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	耐火ブロック、補助充てん材のみ	耐火マット 単管
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	複数管
		アルミ冷媒管(JIS H 4080)	保温材(20以下)	—	φ44.5以下 φ54以下
		銅管	保温材なし	90A以下	φ44.5以下 φ54以下
			保温材(20以下)	—	φ38.1以下 φ38.1以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ38.1以下 φ38.1以下
		ステンレス鋼管	保温材なし	90A以下	— —
			保温材(20以下)	—	32A以下 32A以下
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	40A以下 40A以下
		VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	外径φ48.6以下 外径φ48.6以下
			保温材(6以下)	—	100A以下 100A以下
			保温材(20以下)	—	65A以下 65A以下
	衛生	結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプなど)		—	50A以下 25A以下
		断熱ドレンホース		—	— 呼び25以下 外径φ37以下
		ドレンホース		—	— 呼び16以下 外径φ22以下
		VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下 —
	電気	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)		—	100A以下 —
		電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)		1,600mm ² 以下 200mm ² を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付けケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け	
	電気	合成樹脂製可とう電線管		PF・CD54以下 PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管:貫通部に耐火マット巻き付け	
		施工方法		1 開口に鋼製スリーブを設置する。 2 鋼製スリーブに支持金具(丸穴大開口用Z金具またはZ金具、C金具)を設置し、貫通物の形状に合わせて加工した支持板を置く。(耐火ブロックを下面施工する場合は、鋼製スリーブ下面に支持金具を設置し、支持板を置く。) 3 貫通物に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置までスライドさせる。 尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、隙間用スティックを設置すること。 4 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 5 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。	



項目				仕様			
国土交通大臣認定番号				PS060FL－1200－2(1200－1、1200)			
貫通する壁の構造等				RC・ALC床 厚さ100以上			
開口部	形状(開口サイズ)		円形(丸穴) φ600以下				
	面積		0.29㎡以下				
占積率				35.0%以下			
防火部材	耐火ブロック		ロクマックスブロック				
	耐火マット、隙間用スティック		ロクマックスマット、ロクマックスマットスティック				
	耐火シート		ロクマックスシート				
	支持板		ロクマックスボード				
				耐火ブロック、 補助充てん材のみ	耐火マット		
					単管	複数管	
貫通物	空調	冷媒管(銅管)	保温材(20以下)	—	φ44. 5以下	φ44. 5以下	
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ54以下	φ54以下	
		アルミ冷媒管 (JIS H 4080)	保温材(20以下)	—	φ38. 1以下	φ38. 1以下	
			銅管	保温材なし	90A以下	—	—
				保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下
		発泡合成ゴム保温材(38以下)		—	40A以下 外径φ48. 6以下	40A以下 外径φ48. 6以下	
		ステンレス鋼管	保温材なし	90A以下	—	—	
			保温材(20以下)	—	32A以下	32A以下	
			発泡合成ゴム保温材(38以下)	—	φ50. 8以下	φ50. 8以下	
		VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—	
			保温材(6以下)	—	—	25A以下	
			保温材(20以下)	—	65A以下	—	
	結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプなど)		—	50A以下	25A以下		
	断熱ドレンホース		—	—	呼び25以下 外径φ37以下		
	ドレンホース		—	—	呼び16以下 外径φ22以下		
	衛生	VP・HIVP・HT管	保温材なし	—	100A以下	—	
		リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 9798)(RFVP)		—	100A以下	—	
	電気	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)		1,600㎟以下 200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け			
合成樹脂製可とう電線管		PF・CD54以下 PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け PF・CD54以下×複数管:貫通部に耐火マット巻き付け					
施工方法				1 支持金具(丸穴大開口用Z金具またはZ金具、C金具)を設置し、貫通物の形状に合わせて加工した支持板を置く。 2 貫通物に耐火マット又は耐火シートを巻き所定位置までスライドさせる。 尚、耐火マットで貫通物を複数管巻付ける場合、谷間等の隙間には、必ず、隙間用スティックを設置すること。 3 貫通物、耐火マットあるいは耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。 4 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。			